

知事と区市町村長との意見交換会(西東京市)

令和2年10月16日(金)

17時00分～17時20分

○**行政部長** それでは早速ですが、意見交換を始めさせていただきます。はじめに知事からお願いをいたします。

○**知事** 今日も御多用の中、久々にお目に掛かります。こうやって直接都庁まで御足労いただき、ありがとうございます。

もう言うことはコロナになるんですけれども、ウィズコロナ社会を目指して、今“ing”でもございますけれども、そのような都政をどのように構築をし、また、今構造改革も都政取り組んでおります。そして新しい日常、そして単に元に戻るのではなく、サステナブル・リカバリーという言葉を使って持続可能な回復を目指す、それを長期戦略の方に描き込んでいく。そういう中で直接市長の方から西東京市の状況、そしてまたいろいろと御意見を伺えればと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○**行政部長** それでは丸山市長、御発言をお願いいたします。

○**西東京市長** 今日はパワーポイント等7枚ぐらいで、去年は認知症を中心にしてお話をさせていただきました。今日はコロナを中心ということになろうかと思っておりますけれども、始めたいと思います。

右下にAlliance for Healthy cities、これは26年7月に加盟した(※WHO)西太平洋の事務局からのお声掛けということで、全国で自治体の数が41ぐらい。昨年一年間は日本の支部長をやっておりましたので、その健康都市に加盟しているビッグデータを少しやった経験があります。

そういう中で、人の命はもちろんまちの健康という意味ではこのハンコックが言いたいいわゆる健康都市という概念、理念に向けていわゆる人の健康だけではなく、その住んでいるまちをどうやって健康にするかということで、施策を前に進めているというような状況です。

コロナということにしますと、西東京の場合は4月28日に医師会の御協力の下に発熱外来、5月14日にPCR検査センターということで、今日まで来ています。そしてまた発熱外来に関しましては、来年の3月末までということで、財政的な支援も含めてサポートさせていただいています。

その前に実は地域の医療機関でコロナを診察した診療所が2か所ぐらい、2週間ぐらい閉鎖したというようなこともございますので、何とか地域医療ということで、1か所にやはり集められるよう、そういうようなことで発熱外来。

PCR検査センターは医師会によっていろんなやり方があると思います。うちの場合も医師会の事業という形でドライブスルー、それからウォークインスルー。それでスタートしたというようなこと。もちろん、うちを所管しています多摩小平保健所。これとはもう本

当に連携を密にして、サポートしていただいています。

それからもう1点は、最近週報とか、それから日々のデータを出していただけるようになりましたので、市民にもお伝えできるようになりました。ありがとうございます。

もう一つ、これは多分知事の方にも5月26日ぐらいに御要望があったのではないかと思いますけども、いわゆる東京都、それから三多摩の公立病院、ここの要望という形で、その一つがうちの圏域というか、公立昭和病院がありまして、そこに対する支援というようなこと。それから介護事業者、清掃事業者、これは自治体によっていろんなメニューもやる中で、うちも今やっているということです。

これから2枚ぐらい、うちの行政として出せるデータは、一つは国保療養費。これでは3月に比べると4月あたりからストンと減っていると。まさに外出ができなくなったので、それが受診控えに繋がっているというような数字であると思います。

ただ、これに付随して健診事業、いわゆるがん検診ですとか、それから乳幼児健診ですとか、ああいうものがかかり数字的には落ちているというようなことが、若干の気かりですね。

これは後期高齢の診療報酬、医療・歯科等、ここを一括しているんですけども、うちは今20万6,000の人口で、大体2万5,000人ぐらい、75歳以上ということで、やはりこれかなり落ち込んでいるというような状況です。

これは先ほどちょっとお話しました、二次医療圏はちょうどうちを含めて5市で構成し、それに小金井と、それから東大和が入って、この7自治体で中核病院である公立昭和病院ということで、やはり公立病院そのものがこの感染症対策に関してはかなり、入院控えをしたり、手術制限をしたり、それからまたそれによる人件費が増したり、普通のいわゆる一般病院とは違う、非常にそういう意味では今回の数字という形で出てきているのではないかと思います。

これはその公立昭和病院の方の資料で、3月、5月ということで2億6,700万ぐらいということで、それをかけると、年間で7億5,500万と。これをこの構成自治体で、全額ではないですけども、先ほどお見せしたような額を負担しているというようなことなので、これを東京都の方にも、まさにこの公立病院のこれに対する支援ということでお願いしたいと。

最後ですね。先月にやりました、コロナ禍における防災訓練ですね。段ボールベッドがあって、そしてまたコロナの人、若しくはその疑いのある人をゾーン別にしてというようなことで、まさに協議会の方々とそれからそれに関係する団体がまさに企画をしてくれて、そして小学校でやっとな。

このスライドで最後に言いたかったのは、健康都市で健康都市プログラムというのを作って、これ多世代の交流と、それからやはりその地域でどうつながるか、というようなことでコミュニティの再構築だとか、そういうようなことをやっています。こういうようなことを通して、その地域の中で繋がりを持たせられるような、そういうような地域づくりをこれからしていきたいというようなこと。以上です。

○行政部長 どうもありがとうございました。それでは知事からお願いいたします。

○知事 本当にコロナは、これまでも西東京は大変フレール対策、認知症対策も大変熱心に進めてこられる中で、またこれも全く違う切り口でここまで御苦勞が続いております。

そういう中で今お話がありました、多摩地区の公立病院、地域の中核病院でございますし、重要な役割を果たしているということから、これまでも運営費の補助を行っております。

また、合計で9回補正予算を組んでおりまして、そしてその中からほとんどがコロナ関係ですけれども、コロナの患者を受け入れてくれている医療機関に対する支援も実施してきたところであります。

それから病床の確保料、設備、陰圧にするとか、いろいろ建付けを変えてもらう、そのための補助、入院患者を受けた医療機関に対して経営基盤の包括的な支援ということで、臨時支援金も交付をいたしております。

これからまたインフルエンザとの同時流行等も言われておりまして、引き続き医療機関の支援をまいります。

それから国の方にも、通常診療を含めて、医療提供体制の確実な維持ということで、支援策の拡充について要望もしているところでございます。

それから先ほどもお話がありましたけれども、やはりコロナ禍に対して支援をするために、例えば感染症の診察に当たっていただいている、治療に当たっていただいている医療従事者の皆さんが深夜に渡って勤務が続いている。そのためにホテルを確保したり、また住居棟借上げする等、実際に毎日診療に当たっている方々、お医者様他医療従事者の方、家に帰るとかえってうつすのではないかという、何か不安をお持ちだったりしますので、御自身の健康を守っていただくという意味でも、その方々用の宿泊の支援等も行っております。

それから介護サービス、事業所の感染防止対策と。あとマスクの確保等、これらのことをひっくるめて、職員の皆さんが安心して従事していただける環境整備をまいります。

今もこの段ボールベッドの写真も出ておりますけれども、これからもまだ台風シーズンも続いているかと思っておりますので、様々な危機管理をしながら、そしてまたその後の高齢化が更に進む、認知症フレール、またそういった通常と言うのもなんですけど、課題もお互い情報共有させていただいて進めたいと思っております。

副知事の方から話を続けさせていただきます。

○副知事 それでは私の方からお礼ということになるかと思うんですけど、まさに今知事のお話にもありましたけれども、災害時の避難訓練でございますけど、やはりコロナ禍がありましてから、避難所の運営の在り方というものは本当に大幅に見直していかなければいけないということで、都の方でも今運営のガイドラインの作成に努めておりますけれども、各自治体におきましては住民の方と一緒にあってどんどん訓練をやっていただく。大変有り難いことだと思います。

段ボールベッドもそうです、間仕切りというようなものも必要ですし、寝なきゃいけないということで定員の問題も大幅に見直さなきゃいけないということで、これからも都といたしましても各市さんと御一緒になって、避難所の質的にも量的にも十分な確保を目指してまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

○**行政部長** それでは丸山市長、今のお話を受けていかがでしょうか。

○**西東京市長** 知事からお話があったように、いわゆる自治体でできること、それから国、都でそれを支援する。そして実際に生活している市民達にとって、それがどう還元されるかと。

その辺のところを本当にこれからも都には御協力願って、そしてまた細かい情報というものはやはり基礎的な自治体を持っているものが多いと思いますので、その辺のところを御相談させていただこうと思いますので、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

○**行政部長** どうもありがとうございます。それでは最後に知事からお願いいたします。

○**知事** 本当にありがとうございます。また、長期戦略もコロナ後を見据えた形で描いていかなければなりませんので、今後とも連携を取りましてまいりたいと思っております。今日はどうもありがとうございました。

○**行政部長** 以上で終了いたします。本日はどうもありがとうございました。